私と宮崎の紹介

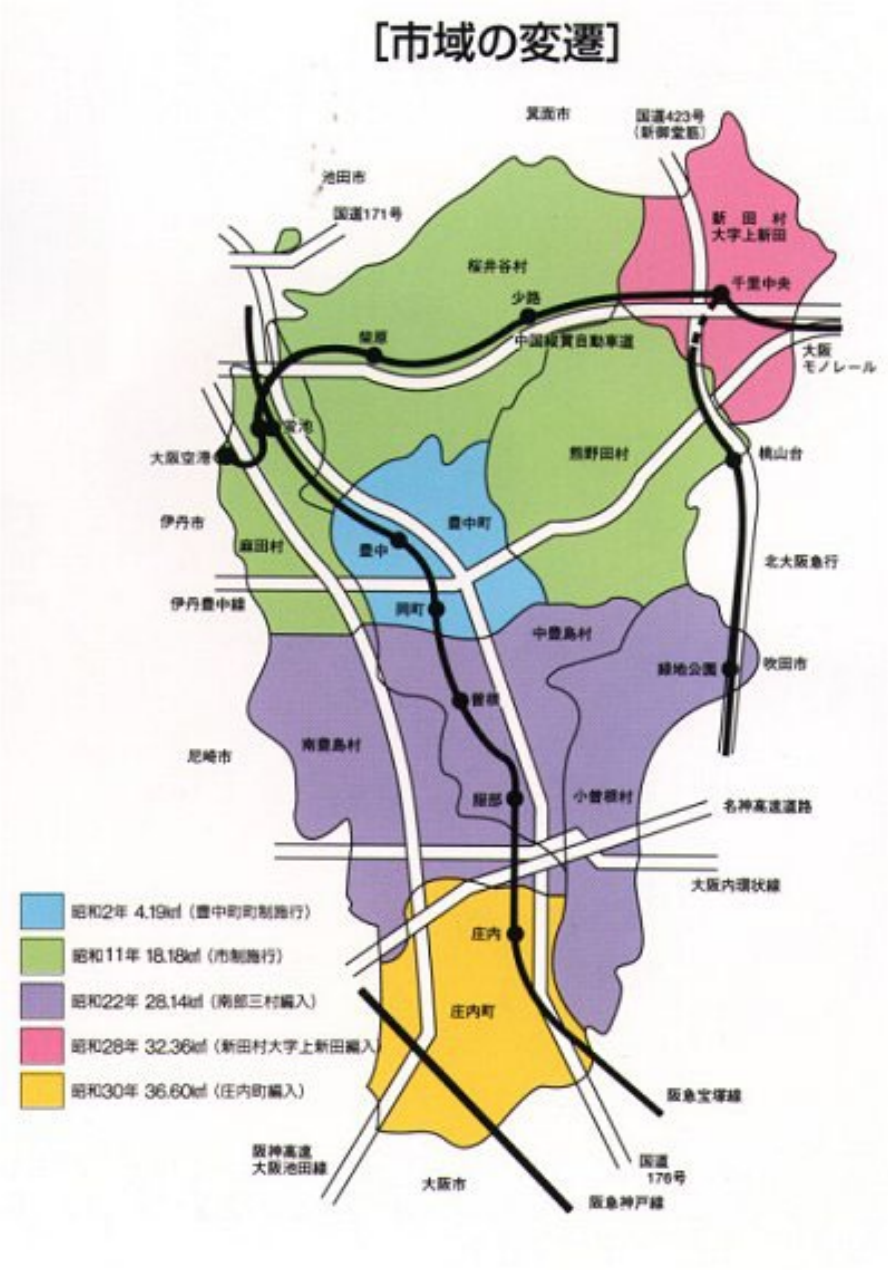
- 株式会社　九電工　大分支店
- 新井考明
- ２０２５年　７月２９日

経歴

- 生まれ　　1966年　11月17日
- 宮崎県延岡市　　2700ｇ
- 父は群馬県　母が宮崎県

- 大阪府　高石市
- 豊中市
- 静岡県　清水市　（現在は静岡市清水区）
- 宮崎県　宮崎市

京都府
能勢町
豊能町
島本町
高槻市
箕面市
池田市
茨木市
枚方市
吹田市
豊中市
摂津市
寝屋川市
交野市
守口市
門真市
四條畷市
大東市
兵庫県
大阪市
東大阪市
八尾市
柏原市
堺市
堺区
北区
松原市
藤井寺市
西区
東区
羽曳野市
高石市
中区
美原区
太子町
泉大津市
富田林市
忠岡町
南区
河南町
和泉市
貝塚市
千早赤阪村
岸和田市
河内長野市
泉佐野市
田尻町
熊取町
泉南市
阪南市
岬町
和歌山県
奈良県
淀川区
都島区
旭区
西淀川区
北区
城東区
鶴見区
福島区
中央区
此花区
西区
天王寺区
東成区
港区
浪速区
生野区
西成区
阿倍野区
大正区
東住吉区
平野区
住之江区
住吉区



・履正社

・森友学園

・マスク　～　光化学スモッグ

・千里ニュータウン

・千里ニュータウン
1962年入居開始した、当時
日本で最初に造られた大規模ニュータウン

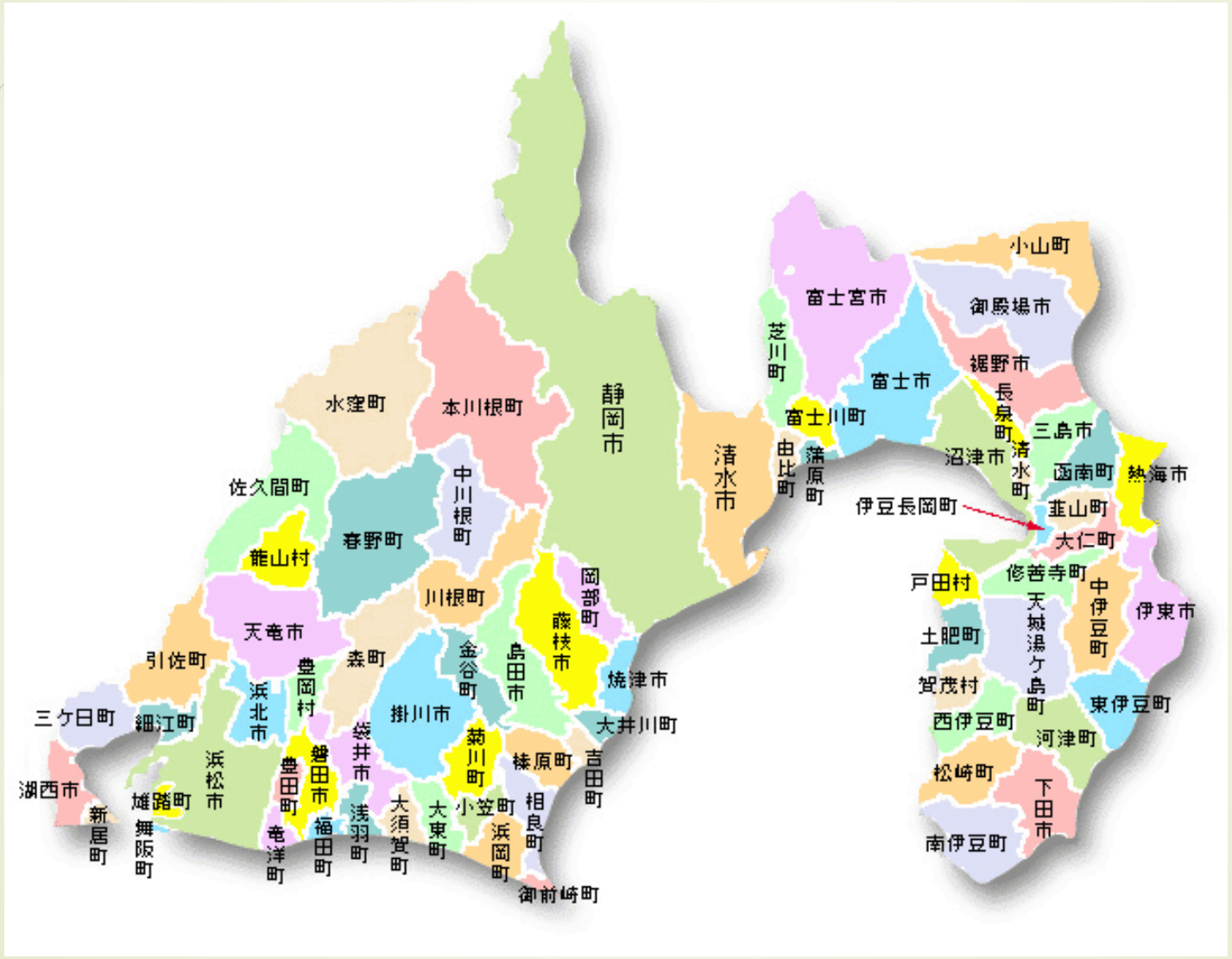
・日本万国博覧会
Expo70　　（吹田市千里丘陵）
1970年３月から９月まで
７７か国が参加

- 野球を始めた。

友人の父のお陰で
甲子園のマウンドに立つ

・ご近所の　〇〇〇〇　にお勤めの方が・・・
ドーナツを始めた。

静岡県清水市三保


静岡市
清水市
水窪町
本川根町
佐久間町
春野町
中川根町
龍山村
川根町
天竜市
引佐町
森町
三ケ日町
細江町
浜北市
豊岡村
掛川市
金谷町
島田市
藤枝市
岡部町
焼津市
大井川町
吉田町
湖西市
新居町
雄踏町
舞阪町
浜松市
豊田町
磐田市
袋井市
菊川町
榛原町
浅羽町
福田町
竜洋町
大須賀町
大東町
小笠町
浜岡町
相良町
御前崎町
芝川町
富士宮市
富士川町
由比町
蒲原町
富士市
小山町
御殿場市
裾野市
長泉町
沼津市
清水町
三島市
函南町
熱海市
伊豆長岡町
韮山町
大仁町
戸田村
修善寺町
土肥町
天城湯ヶ島町
中伊豆町
伊東市
賀茂村
西伊豆町
東伊豆町
河津町
松崎町
下田市
南伊豆町

・清水市
2003年　静岡市と合併により
清水区となる

・防災頭巾　～　東海地震対策

・サッカーしかなかった

三保の松原
天女の羽衣の伝説

現在は三代目

- 羽衣の松

- 羽衣の松は御穂神社の神体で、初代「羽衣の松」は1707年（宝永4年）の宝永大噴火の際に海に沈んだと伝えられる[13]。

- 二代目「羽衣の松」は高さ約10メートル、外周5メートル、樹齢650年のクロマツで、立ち枯れが進んだため、2010年（平成22年）10月に近くにある別の松を三代目の「羽衣の松」に認定して世代交代した。

- 2013年（平成25年）7月3日に先代の「羽衣の松」は約3メートルの幹を残して伐採された。

久能山東照宮

徳川家康の遺言

自分の遺体は駿河の久能山に葬る
江戸の増上寺で葬儀を行い
三河の大樹寺に位牌を納め
一周忌が過ぎてから、下野の日光山に小堂を建てて歓請せよ

寛永11年（1634年）には、9月（9月か10月）に3代将軍・徳川家光が日光社参し、寛永13年（1636年）の21年神忌に向けて寛永の大造替が始められ、荘厳な社殿への大規模改築が行われた

・ご近所の方が　〇〇〇〇　にお勤めになっていて・・・
　試飲を

宮崎へ

- 赤江中学校
- 宮崎空港　戦時は赤江空港
- 現在の宮崎空港(宮崎ブーゲンビリア空港)の前身は、 日本帝国海軍赤江飛行場。1943年に陸上攻撃機の練習航空隊・宮崎空として開隊した後、 訓練基地や中継基地、前線基地として使用。 1945年に米軍の沖縄上陸が確実になってくると、特別攻撃隊及び雷撃隊の出撃基地となった。
- 再び野球を始める
- アディダス
- ○○○○　が試飲を・・・

宮崎工業高校

- 都城高校が強かった。
- 九州大会　１９８３年　（昭和５８年）
- 準決勝　福岡大濠　1
  佐世保実業　4
- 沖縄水産　0
  都　城　7
- 決　勝　佐世保実業　2
  都　城　10

高校野球春選抜大会　１９８４年（昭和５９年）

２回戦　　神港学園（兵庫）
準々決勝　愛工大名電（愛知）

準決勝	都	城	0
	PL	学園	1
決　勝	PL	学園	0
	岩	倉	1

九州共立大学

全日本大学野球選手権大会
　平成８年　準優勝
　平成１２年～平成１５年　連続ベスト4
　平成２３年　平成24年　ベスト４

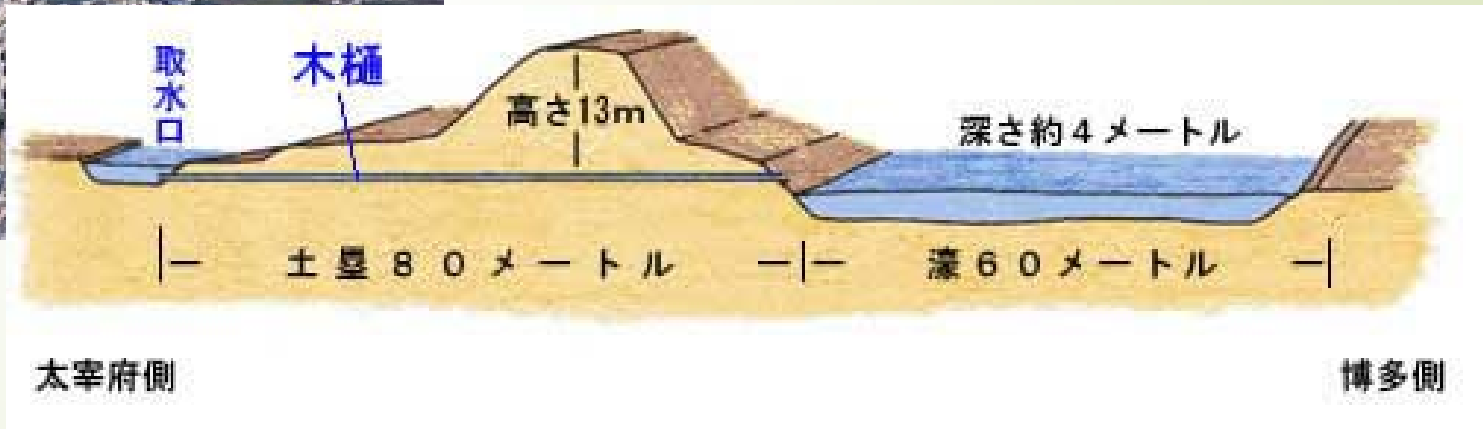
明治神宮大会
　平成１１年　優勝

プロ野球選手２１名

九電工　から　クラフティア　へ
10月から社名が変わります。

岩屋城
乙金
大城
大野城総合公園
スズキアリーナ
炭焼
四王寺
太宰府市
大野小
瓦田
玄清法印之墓
筑紫台高
総合グラウンド
太宰府IC
白木原
ネッツトヨタ
水城
三条台団地
国分台団地
国分小
坂本
ルートイングランティア
太宰府
九州情報
下大利
白川
上大利
文化ふれあい館
太宰府
九州国立博物館
観世音寺
水城
筑紫保育園
大宰府跡
観世音寺
都府楼前
石坂
水城西小
西鉄五条
青葉台
505
朱雀
五条
緑ケ丘
都府楼南
青山

大野城跡
水城跡


取水口
木樋
高さ13m
深さ約４メートル
土塁８０メートル
濠６０メートル
太宰府側
博多側

水城とは

- 663年白村江（はくすきのえ）の戦いの翌年に造られた。
- 660年、唐は新羅と手を結び、百済に攻め入る。同年7月、百済は滅び、百済の遺臣（いしん）は倭に百済の滅亡を伝えるとともに、救援軍の派遣を要請。
- 1次軍は661年、2次軍は663年の2万7千人から成る大部隊を派遣。

  （兵士の動員は西日本から東日本まで）
- 百済救援軍は白村江で、唐・新羅の連合軍と衝突。倭は大敗北し百済の亡命貴族を伴い退却。

〇〇〇市議会で・・・

大友宗麟の家臣

- 立花道雪（雷神）
- 高橋紹運（風神）

岩屋城の戦い

- 岩屋城には763名の城兵が籠る。1586年（天正14年）7月12日島津軍は降伏勧告を出すが高橋紹運はこれに応じず、徹底抗戦を行った。7月14日、島津氏による岩屋城攻撃が開始された（２万～５万）。

- 島津軍は多数の兵を消耗していた。城攻めで苦戦する島津方は紹運の実子を差し出せば講和する旨を伝えたが紹運はこれにも応じなかった。

- 籠城戦が始まって半月が経過した27日、島津軍は島津忠長が自ら指揮をし総攻撃を仕掛け、多数の死者を出しながら城に攻めた。紹運以下763名全員が討死、紹運も自害して戦いの幕は降りた。

- 一方、島津氏は岩屋城を攻略したものの多数の将兵を失ったため、態勢の立て直しに時間を要し、九州制覇という夢が叶わなかった遠因となった。

逸話

紹運は岩屋城に入城。島津勢に立花城を攻められないために。

立花城　紹運の実子、立花宗茂。
宝満城　紹運の妻、次男の高橋統増、他非戦闘員。

島津軍は、紹運の武将としての器量を惜しみ降伏勧告を何度も送る。
紹運は
「主家が盛んなる時は忠誠を誓い、主家が衰えた時は裏切る。そのような輩が多いが、私は大恩を忘れ鞍替えすることは出来ぬ。恩を忘れることは鳥獣以下である」
（ちなみに降伏勧告は計5回、島津方から3回）

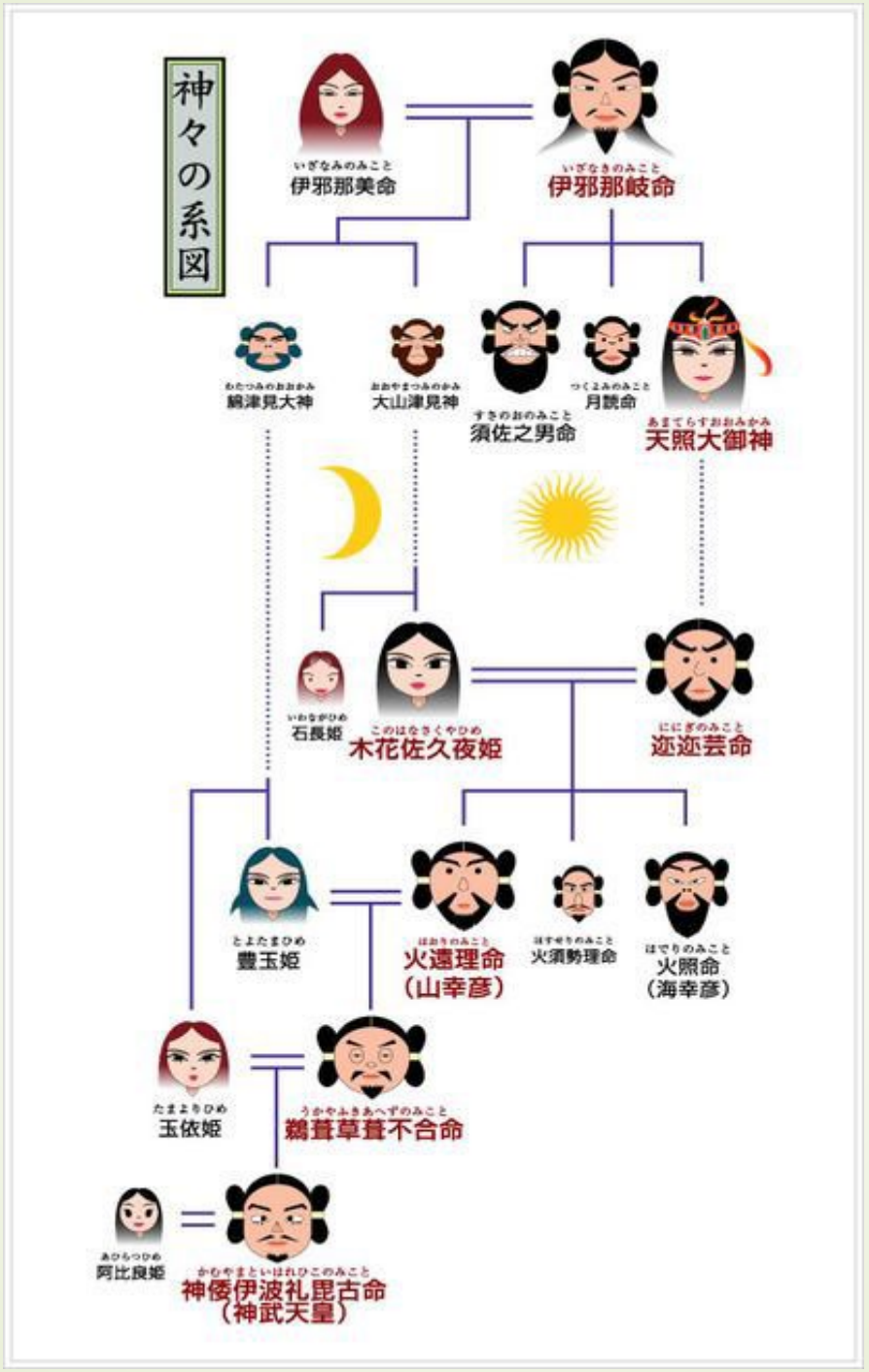
落城後、総大将島津忠長
「我々は類まれなる名将を殺してしまった。紹運と友であったならば最良の友となれたろうに」と、正座し涙を流したと伝わっている。

2023年11月

宮崎県

神武天皇

諸説あり


神々の系図
いざなみのみこと
伊邪那美命
いざなきのみこと
伊邪那岐命
わたつみのおおかみ
綿津見大神
おおやまつみのかみ
大山津見神
すさのおのみこと
須佐之男命
つくよみのみこと
月読命
あまてらすおおみかみ
天照大御神
いわながひめ
石長姫
このはなさくやひめ
木花佐久夜姫
ににぎのみこと
迩迩芸命
とよたまひめ
豊玉姫
ほおりのみこと
火遠理命
(山幸彦)
ほすせりのみこと
火須勢理命
ほでりのみこと
火照命
(海幸彦)
たまよりひめ
玉依姫
うかやふきあへずのみこと
鵜葺草葺不合命
あひらつひめ
阿比良姫
かむやまといはれひこのみこと
神倭伊波礼毘古命
(神武天皇)

高原町の「皇子原」で生まれたとされる神武天皇は幼少名サノノミコト。

その為高原町には、「狭野（さの）神社」、遊んだとされる「御池」などがある。（鹿児島説もある）

神武天皇は東遷の際、宮崎市の「皇宮屋（こぐや）」で約30年を過ごし、45歳で日向の美々津港から出立されたといわれている。

祓詞（はらいことば）

掛けまくも畏き　伊邪那岐大神　筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原に　禊ぎ祓へ給ひし時に生り坐せる祓戸の大神等　諸々の禍事　罪　穢有らむをば　祓へ給ひ清め給へと　白すことを聞こし召せと　恐み恐みも白す

江田神社～御池（みそぎ池）

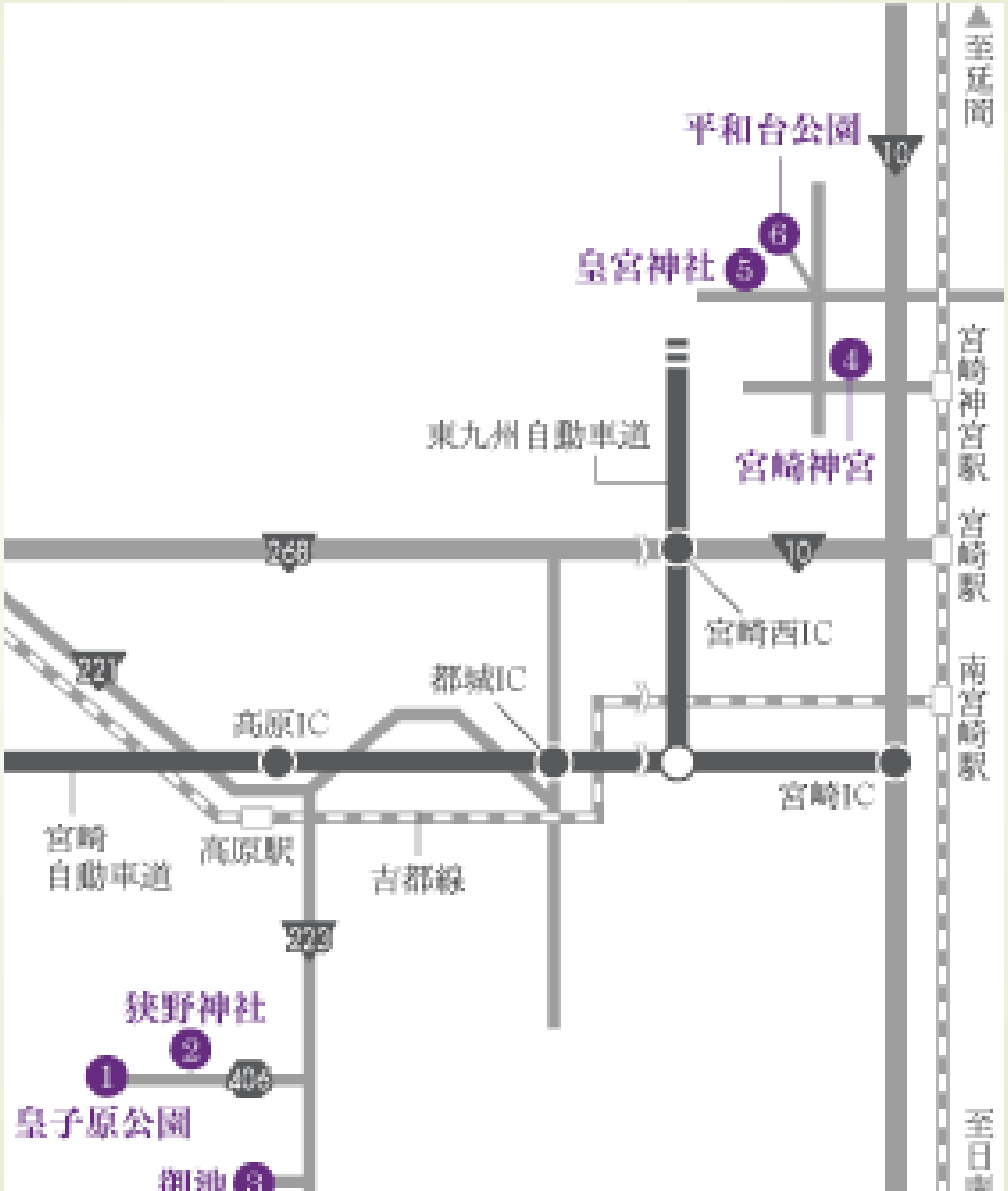
阿波岐原森林公園遊歩道
Awakihara Forest Park Promenade
林は、台風や潮風などの災害から私たちを守ってくれるとともに
休養のための快適な憩いの場所として利用されています。
・ゴミの投げ捨てをやめ、私たちの松林を大切にしましょう。
現在地
シーガイア
SEAGAIA
日向灘
Hyuga Ocean

江田神社

禊池

神武天皇東征経路

多家神社は、神武天皇が国を治めるため日向から大和(奈良県)に移ったいわゆる「神武東遷」において、道中お立ち寄りの地の1箇所としても、語り継がれています。


平和台公園
6
皇宮神社
5
4
宮崎神宮
東九州自動車道
268
10
宮崎西IC
都城IC
22
高原IC
宮崎IC
宮崎
自動車道
高原駅
吉都線
322
狭野神社
2
1
406
皇子原公園
御池
至延岡
宮崎神宮駅
宮崎駅
南宮崎駅
至日南

霧島神宮　瓊瓊杵尊

宮崎神宮　神武天皇

鵜戸神宮　烏萱不葺合尊
豊玉姫

宇佐神宮　応神天皇
かつては二所宗廟のひとつ

神宮とは天皇の祖先

＜現代語訳＞

口に出して言うことも恐れ多い
国土万物を生んだ男神である伊邪那岐の大神が
筑紫にある日向の橘という所の
小さな水門のそばにある阿波岐原で
身の罪や穢れを水に漬かって洗い清め
災難などを除き清めなさった時にお生まれになった
祓戸という祓えをするための場所を守る四柱の立派な神々が
すべての悪いこと災いを招くこと
さらには不浄なことが起こったとしたら
それらを除いてくださり清めてくださいと
祓戸の神々に申し上げることを祓戸の神々はお聞き入れくださいと
恐れ多い恐れ多いと思って祓戸の神々に申し上げます。

※参考文献『現代人のための祝詞』（右文書院）

二所宗廟とは

- 皇室が先祖に対して祭祀を行う二つの廟のことで、伊勢神宮と石清水八幡宮の二社を指す。
- ただし、以前は宇佐神宮であった。

宇佐神宮

- 道鏡事件（769年）で伊勢神宮は無視され、宇佐神宮の神託が皇位継承を決定した。
- 女帝称徳天皇は天皇の位を道鏡に譲るかどうか悩み、宇佐神宮の判断を仰ぐため和気清麻呂を派遣し神託を求めた。
- 神託は「皇統でない者を天皇にしてはならない」で、道鏡の野望は潰えた。これは、皇祖神（天照大神）を祭る真の宗廟が宇佐神宮であることを意味すると考えられる。

卑弥呼の墓

- 魏志倭人伝では百歩　⇒　亀山の上部直径80mの円形
- 地下に石棺（明治４０年と昭和１６年の改修工事時に発見）
- 奴隷１００人が一緒に埋葬された　⇒　百体神社
- 応神天皇と神功皇后を左右に配し、中央に比売大神

- 天照大神と素戔嗚尊の誓約により男5人と女3人が生まれた。この女3人が、『古事記』：多紀理毘売・市寸嶋比売・多岐都比売、また『日本書紀』本文：田心姫・市杵嶋姫・湍津姫で、それぞれ宗像の奥津宮・中津宮・辺津宮に祭られ宗像三女神と総称する。
　この当時、道鏡は称徳天皇の深い寵愛を受け、太政大臣禅師また法王として位、人臣を極めていた。神護景雲三年（769年）、大宰府の役人である習宜阿曾麻呂が「道鏡を皇位につければ、天下は太平になるであろう」との宇佐神宮の神託があったと偽りの奏上をしてきた。これが事件の発端である。皇位を天皇家の血筋を引かない臣下の道鏡へ譲るのは、禅譲による王朝交代を意味し、天皇家の一大事である。この非常事態に際し、称徳天皇は当然のこととして皇祖神の判断の神託を得る必要が生じた。天皇家の皇祖神は天照大神で伊勢神宮に祭られている。ところが、誰も伊勢神宮の神意を問おうとせず宇佐神宮に神託を求め、結局、この事件は伊勢神宮抜きで決着してしまった。これは何を意味するのか。それは、天皇家と朝廷が皇祖神を祭る真の宗廟は宇佐神宮と考えていたと判断するしかない。奈良朝から江戸幕末まで、天皇家は近くの伊勢神宮には千百年間も参拝すらしたことがないのに、国家の大事や天皇の即位時には、宇佐神宮に必ず勅使が遣わされた。このように、伊勢神宮と宇佐神宮は「二所宗廟」として共に皇祖神天照大神を祭るが、実際には宇佐神宮のほうがより重視されていたとも言える。それでは、天照大神は宇佐神宮のどこに祭られているのか？　それが次に述べる比売大神である。